

演奏者プロフィール

マリンバ：明瀬 由武 AKASE Yoshitake

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK FMにて新実 徳英「For Marimba I」、西村 朗「ソロマリンバのための詩曲」他、数多くのマリンバ作品の初演をする。青年海外協力隊隊員として中米コスタリカに派遣され、国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者として、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

CD「マリンバの贈り物～クリスマスの日に～」

CD「マリンバの贈り物パート2～星降る夜に～」

(ピアノ：高瀬 奈美 作・編曲：織田 英子)

<http://museum.world.coocan.jp/y.akase/index.html>

ピアノ：高瀬 奈美 TAKASE Nami

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。クラシックの古典から近代・現代音楽までピアノ音楽の可能性を探って、多彩な演奏活動を展開。つくば市では、2002年からピアノ独奏による「叙情詩集」、様々なゲストを迎えての「夜想曲シリーズ」が11回を数え、2016年11月には全曲ファリアの作品による「ファリアの夕べ」を開催、好評を博す。

「つくば朝のサロンコンサート」メンバー。

CD「ジョン・ケージ/ソナタとインターリュード」

フルート：末吉 千枝子 SUEYOSHI Chieko

東京芸術大学音楽学部器楽科フルート専攻卒業。同大学院修士課程修了。フルートを益山 弘、吉田 雅夫の両氏に師事。また、マルセル・モイーズ、トレパー・ワイ両氏のセミナーを受講。

月例室内楽コンサートで10年間活動。

つくば市より助成金を得て、スイートコンサートシリーズを共同企画演奏。

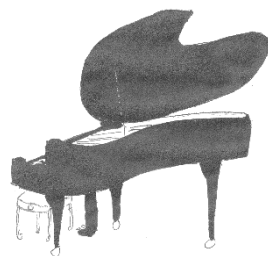
現在、後進の指導をはじめ、室内楽を中心に活動している。

「ステラファミリア」「つくば朝のサロンコンサート」メンバー。



アンケートにご協力ください。パソコンの方はホームページから、携帯の方は左のQRコードからお送りください。お待ちしております。

イラスト：しょうじ りお



デュオコンサート

まりとぴあ 2020

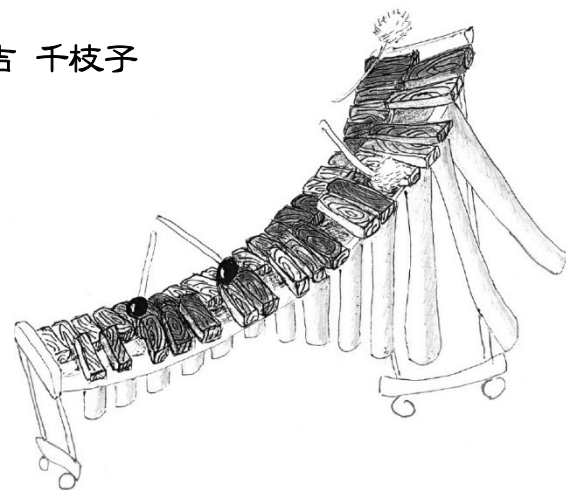
Duo Concert Marr + pf

～ ふたたび 日本の歌、そしてロシア ～

マリンバ 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

フルート 末吉 千枝子



MUSICASA

2020年4月11日(土) 3:00PM

第1部

- ♪ 春、芽吹きのと
どこかで春が
春よこい
花
春の小川
おぼろ月夜
- 春畑 セロリ
- ♪ 赤とんぼ
- 山田 耕筰
- ♪ からたちの花
- 山田 耕筰
- ♪ 民謡紀行にしひがし
- 千秋 次郎
- ♪ 五木の子守唄
- 熊本民謡
- ♪ ディベルティメント(喜遊曲)
- 湯山 昭

第2部

- ♪ ソナチネ 第1番 作品13-1 ハ長調 D. カバレフスキー
1楽章 アレグロ・アッサイ・ルジンガンド(華やかに、時々甘美に)
2楽章 アンダンティーノ(子守唄のように)
3楽章 プレスト(急速に)
- ♪ やさしい変奏曲 D. カバレフスキー
- ♪ カッチーニのアベマリア V. ヴァヴィロフ
- ♪ モンタギュー家とキャピュレット家 S. プロコフィエフ
バレエ「ロメオとジュリエット」より
- ♪ ヴォカリーズ S. ラフマニノフ
- ♪ くるみ割り人形 P. チャイコフスキー
小序曲
行進曲
こんぺい糖の踊り
葦笛の踊り
花のワルツ

第1部

♪ 春、芽吹きのと き 春畑 セロリ

「どこかで春が」「春よこい」「花」「春の小川」「おぼろ月夜」

春畑 セロリさんは、作曲・編曲、執筆・雑誌連載、プロデュース・プログラミング、全国でのセミナーなどの活動をしています。

「マリンバで奏でる日本の四季」は2015年、私（明瀬）の編曲委嘱で作られました。「春、芽吹きのと き」「想い出に逢える夏」「心揺れる秋、心満ちる秋」「冬は暖炉のそばで」の4つの作品からなっています。世代が違って、誰もが口ずさめ、聴いて癒されるメロディーをお楽しみください。それぞれの作品の最後に次の季節が少しだけ顔を出し、春夏秋冬がループするアレンジになっています。

♪ 赤とんぼ 山田 耕筈

山田 耕筈（1886～1965）は、西洋音楽の普及に努めた、日本最初の指揮者・作曲家とされています。幅広い作品分野をもち、中でも日本語の抑揚を生かしたメロディーの歌曲を数多く残しています。

「夕焼け小焼けの赤とんぼ、負われて見たのはいつの日か」は、昭和2年（1927年）三木 露風の詞に、山田が曲をつけて発表されました。

マリンピスト 吉川 雅夫さんの委嘱で中村 均さんが編曲しました。

♪ からたちの花 山田 耕筈

原曲の歌曲（作詞：北原 白秋）「からたちの花が咲いたよ 白い白い花が咲いたよ…」は大正14年（1925年）に発表されました。

今日は、昭和6年（1931年）山田自身が編曲したものを演奏します。山田は、発表にあたって次のようなコメントを残しています。

「私はこの曲が今日ほどの流行を見るものとは思っておりませんでした。今、私は各方面からの熱烈なる希望と懇願とに促されて、原曲をヴァイオリンの独奏曲に改編しました。」

♪ 民謡紀行にしひがし 千秋 次郎

千秋 次郎さん（1934～）は京都大学工学部卒業・大学院修了後同大で助手を勤めた後、作曲家に転向した経歴の方です。作品は400曲近くあり、洋楽器と邦楽器の共演作品も多く書いています。私の演奏会では「わらべ歌春秋」でおなじみの作曲家です。

演奏にあたって、以下のコメントをいただいています。

「1998年に発表。会津（会津磐梯山）大阪（天満の子守唄）熊本（おてもやん）と三つの地方の民謡やわらべ歌を繋いだものです。ムソルグスキーの「展覧会の絵」のように「プロムナード主題」が最初に現れて、これが全体の引き回し役を務め、北から南へと進んでいく構想です。」

♪ 五木の子守唄 熊本民謡

11世紀後半から熊本県五木村に伝わる民謡を、古関 裕而が昭和26年（1951年）に編曲し、全国的に知られるようになったとのこと。

今日は、1987年、私がつくばの最初のリサイタルで演奏するために織田英子さんに編曲委嘱したものを演奏します。

♪ ディベルティメント（喜遊曲） 湯山 昭

湯山 昭さん（1932～）は器楽、合唱、童謡と幅広い分野の作品を発表しています。特に、子どものために書いたたくさんのピアノの曲集（「お菓子の世界」、「こどもの国」）でおなじみかと思います。また、「あめふりくまのこ」に代表される多数の歌もNHK「みんなのうた」などを通して愛唱されています。

この曲の正式なタイトルは「マリンバとアルト・サクソフォーンのためのディベルティメント」で、1968年当時クラシック界ではまだ異端だった二つの楽器のために作曲されました。

今回、ちょっと実験的でしたが同じ木管楽器ということで、フルートの末吉さんに無理にお願いしてプログラムに取り入れました。ですからもちろん、初演も初演・・・皆さんの感想をお聞かせください。

13 第2部

♪ ソナチネ 第1番

D. カバレフスキー

カバレフスキー (Dmitri Kabalevsky 1904~1987) はロシアの作曲家・ピアニスト・著述家です。オペラ、交響曲、協奏曲など様々な分野に作品が多数あり、また音楽教育にも力を注ぎました。ロシアの25の学校で実験カリキュラムを設定したほか、こどものための優れたピアノ作品を多く残しています。その中に2つのソナチネがあります。

第1番(作品13-1 ハ長調)は1930年に作られたもので、明るい調性で華やかな雰囲気があるために、第2番(作品13-2 ト短調)よりも演奏される機会が多いようです。編曲は水沼 寿和さんです。

♪ やさしい変奏曲

D. カバレフスキー

カバレフスキーはピアノのために3つの変奏曲を残しています。

「やさしい変奏曲(作品40)」は1944年に作られました。

水沼 寿和さんの編曲による、マリンバとフルートという異色の組み合わせでお聴きください。

♪ カッチーニのアベマリア

V. ヴァヴィロフ

ヴァヴィロフ (Vladimir Fiodorovich Vavilov 1925~1973) は、ロシアのギタリスト・リュート奏者、古楽の研究者でしたが、自作をルネサンス音楽やバロック音楽の作曲家のものとして発表していました。

彼の「アベマリア」は1970年頃に作曲者不詳として発見・発表されましたが、誤ってカッチーニ作とされ、ヴァヴィロフもそれを否定しなかったことから「カッチーニのアベマリア」として定着し、ロシア国内から世界に広がってしまったと言われています。

※カッチーニ (Giulio Caccini 1545?~1618) はイタリア・ルネサンス音楽末期、バロック音楽初期の作曲家。

♪ モンタギュー家とキャピュレット家

S. プロコフィエフ

ロシアの作曲家プロコフィエフ (Sergei Prokofiev 1891~1953) は膨大な作品を残していますが、その中には「ピーターと狼」のようなポピュラーなものもあります。

「モンタギュー家とキャピュレット家」は彼のバレエ音楽・管弦楽組曲「ロメオとジュリエット」の中の1曲です。また、本人の手によるピアノ独奏用があります。テレビドラマ「のだめカンタービレ」の挿入曲やテレビCMのBGMとしても使われました。

♪ ヴォカリーズ

S. ラフマニノフ

ラフマニノフ (Sergei Rachmaninov 1873~1943) はロシアのピアニスト・作曲家・指揮者です。後期ロマン派を継承し、哀愁や情熱に富んだ美しい旋律が特徴で、特にピアノ協奏曲第2番は有名です。

ヴォカリーズとは、歌詞の無い、母音だけで歌う歌唱法のことですが、それがそのまま曲名になっています。1915年前後にピアノ伴奏付き歌曲として発表され、その後、自身で管弦楽用に編曲しました。現在では、ピアノソロ、バイオリン、フルートなど様々な楽器で編曲演奏されています。

♪ くるみ割り人形

P. チャイコフスキー

チャイコフスキー (Pyotr Tchaikovsky 1840~1893) はロシアの作曲家で、特に悲愴交響曲や3大バレエ「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」などで知られています。

「くるみ割り人形」は全曲(15曲)演奏すると約1時間25分にもなります。チャイコフスキーは演奏会用にそのうちの8曲を抜き出し、オーケストラやピアノのための組曲としました。また、ほかの作曲家の手によっても、連弾や2台ピアノ版、ブラスアンサンブル等に編曲され、特にクリスマスシーズンになるとよく演奏されます。今日のマリンバ・ピアノ版は織田 英子さんの編曲で、5曲(小序曲・行進曲・こんぺい糖の踊り・葦笛の踊り・花のワルツ)がメドレーになったものです。

